

平成28年2月3日  
東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

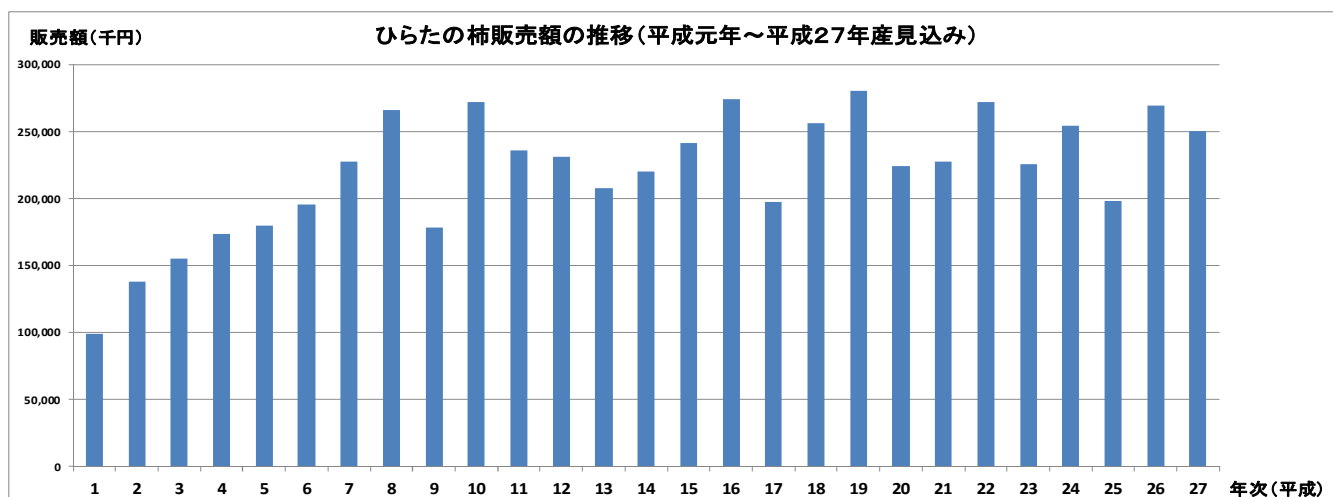
標 題	平成27年産「ひらたの柿」販売実績(速報)！ ～生産者の熱意と実践で、販売額4億円以上の産地づくりを目指して～
-----	--

(ダイジェスト)

昨年、平田柿部設立60周年記念式典で披露された「ひらたの柿産地活性化プラン」＝「5haのリース団地による担い手育成」「あんぼ柿100万個生産による販売額4億円突破」の目標を達成するため、現在、部会役員、JA等関係機関による協議・検討を行っています。

こうした状況の中、平成27年産の販売実績は、2年連続で2億5千万円を超える見込みとなり、目標達成に向けて弾みがつきました。

平成27年産、平田柿部会の販売がほぼ終了し、販売量約629t、販売額約2億5千万円となる見込みです。販売量は西条柿の樹上軟化や富有柿のヘタスキ果の影響で前年比78%でしたが、大玉であったことから単価高となりました。



販売期間は、露地：10月5日～12月12日、冷蔵：11月18日～12月21日、干し柿：10月17日～12月28日（ただし、現在も少量販売中）でした。

中でも干し柿（いずもあんぼ、スイートパーシモン）は、出荷計画どおりの約60万個を販売しました。来年産は冷蔵庫（スーパーリングシステム）を導入して加工期間を延長し、年末から正月出荷に向けて更に販売量を拡大する計画です。

また、あんぼ柿原料の増産や中心的担い手の育成に向けて、現在、JAリース団地の設置を検討しており、来年度5ha規模の団地を造成する予定です。

東部農林振興センター出雲事務所としても「ひらたの柿」産地の更なる発展に向けて支援するとともに、県内のあんぼ柿産地の連携を進め、島根あんぼ統一ブランドを目指した普及活動を行っていくこととしています。